

# 平成28年度 事業報告書

## (総括)

高梁市の状況は人口減少と超高齢化と少子化、さらには高齢者世帯の増加に加え地域での相互扶助やコミュニティ機能の低下がますます進行しています。

平成28年度、法人運営事業では社協組織の基盤強化と活動財源確保を図るとともに職員の資質向上に取り組みました。

地域福祉事業では、地区社会福祉協議会と連携し福祉ニーズの把握に努め、見守り活動の推進に努めました。しかし地域支援総合事業では第2層協議体の体制整備に留まり、事業の地域推進を拡大できませんでした。

介護保険事業では事業所間の連携を進める会議の開催や職員研修受講により介護職員の習熟度を高め、利用者の自立を支援するサービスを展開しました。しかし中山間地域へのサービス提供が負担となり収益を大きく圧迫する状況に陥っており、その役割を見直していかなければなりません。

公益事業におけるシルバー人材センター事業では会員数、受注量とも横ばいの状況です。総合福祉センター事業では施設や設備の老朽化と成羽総合福祉センター処分問題は行政との協議を継続しています。

また本年度、「みんなでつくる いきいきと暮らせる愛のまち たかはし」を基本理念に4つの基本目標を掲げ「ささえあい・たすけあいのまちづくり」に取り組む地域福祉活動5か年計画の中間点で、その活動体制の充実に努めてまいりました。

### 《4つの基本目標への取り組みとして》

①「地域で活躍できる人づくり」では地域で自主的な活動ができる人材育成のためにボランティア研修会や夏ボラを通して福祉への意識づくりに努めました。その結果として一部の地域では既に「お助け隊派遣事業」が立ち上がり、住民同士が相互に支え合う関係基盤づくりが図られています。

②「手と手をつなぐ地域づくり」では、福祉委員の全町内会からの選出を目指すとともに、地区社会福祉協議会との連携により小地域ネットワークの推進を図り、地域で福祉アンケートを実施し、そのニーズの把握に努め地域における問題点の抽出を行ないました。

③「地域を支える環境づくり」では、広報紙「ふれあい福祉」とホームページを充実させるとともに、地区担当職員により福祉情報の提供を確実に、地域との連携を強化しました。また生活困窮者への自立相談窓口「高梁市生活あんしんサポートセンター」は状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援をおこないました。

④「安心して暮らせる体制づくり」では、自立した生活や社会参加を支援するため、関係機関と連携し格差のない福祉サービスの提供を目指しました。

今後は、改正社会福祉法への対応や介護保険制度の地域支援総合事業等の動向を的確にとらえ、高梁市社会福祉協議会の事業実施体制整備をすすめてまいります。

(執行体制)

1. 役員等 (平成29年3月31日現在)

役職名	人数
会長	1
副会長	2
理事	15 (会長・副会長を含む)
監事	3
評議員	37

2. 職員 (平成29年3月31日現在)

所 属	職員数	内 訳		
		正 職	内兼務	臨時職員
事務局	2	4	2	
総務課	7	5		2
地域福祉課	10	13	4	1
介護保険課	5	5		
居宅介護支援事業所たかはし	2	2		
訪問介護事業所	4	7	3	※注1
訪問入浴事業所たかはし	5	1	1	5
巨瀬デイサービスセンター	3	3	3	3
有漢支所	2	1		1
成羽支所	4	2		2
グループホームささゆり苑	12	3	1	10
川上支所	2	2		
居宅介護支援事業所かわかみ	3	3		
川上デイサービスセンター	10	7	1	4
備中支所	2	2		
居宅介護支援事業所びっちゅう	3	3		
備中デイサービスセンター	11	5	1	7
合 計	87	68	16	35

※注1 訪問介護事業所 登録ヘルパー28名

## 法人運営事業

### 1. 法人運営事業

予算額 130,661千円

執行額 113,997,208円 執行率 87.2%

#### (1) 理事会、評議員会等の各種会議の開催（詳細別添参照）

①正副会長会の開催 4回

②正副会長・支会長会 3回

③理事会の開催 5回

④評議員会の開催 4回

⑤各種委員会の開催 13回

（総務企画委員会 4回、社会福祉委員会 4回、表彰選考委員会 1回、苦情解決第三者委員会 1回、総合福祉センター管理運営委員会 1回、評議員選任・解任委員会 1回、役員等推薦会 1回）

⑥支会運営委員会の開催 8回

#### (2) 会員制度の広報、普及による自主財源の確保

福祉委員連絡会や広報紙等により会費の協力依頼や情報を提供するとともに、高梁地区成羽地区では未納町内会に直接出向き制度の普及と充実に努めた。

<目標> 普通会員数 6,700人

<実績> 普通会員数 6,727人

	H28		H27	
	人数・件数	金額	人数・件数	金額
普通会員	6,727人	7,084,000円	6,709人	7,101,000円
法人会員	269件	881,000円	274件	897,000円
ふるさと会員	75人	266,000円	73人	247,000円
特別会員	11人	55,000円	10人	50,000円
合計	7,082人（件）	8,286,000円	7,066人（件）	8,295,000円

・人口減少に伴う世帯数の減に比例し有漢・川上・備中で減少したが、会費納付率が低迷する成羽地区で会員数が拡大した。

#### (3) 役職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施（詳細別添参照）

職員の意識改革及び人材育成のため、計画的な研修を企画実施した。

- ・計画的な職員の外部研修 10回（延べ19人）
- ・内部研修 1回
- ・内部指導監査の実施 1回

#### (4) 事務効率の向上及び経費節減のための事務改善

庁内ネットワークシステムを活用し、迅速な情報提供・共有による事務効率に務めた。

## 2. 企画広報事業

予算額 1,917千円

執行額 1,870,500円 執行率 97.5%

社協の広報紙やホームページ、福祉委員連絡会、ふれあい福祉講座等あらゆる機会において、社協の活動について広報活動を行い、また、新聞やケーブルテレビを活用しての広報活動に努めた。

### ○「ふれあい福祉」の発行

広報紙を発行し、市民へ社協の情報を発信した。

<目標> 年6回奇数月に発行

<実績>

発行月	主な内容
平成28年5月 (第67号)	平成28年度事業計画及び予算、赤い羽根まちづくり福祉活動事業 私の町のふくし人 (Vol11)、地域福祉活動報告、人事異動、お知らせ
平成28年7月 (第68号)	平成27年度決算報告及び実施事業、会費・寄附金財源事業、地域 福祉活動計画評価・見直し、私の町のふくし人 (Vol12)、地域福祉 活動報告、一般募金助成金、お知らせ
平成28年9月 (第69号)	夏のボランティア体験事業、ふれあい福祉講座、赤い羽根共同募金 運動、ふれあいサロン事業、賛助会員会費、私の町のふくし人 (Vol 3) 介護保険課通信、お知らせ
平成28年11月 (第70号)	赤い羽根共同募金運動、秋の各種表彰、敬老事業、私の町のふく し人 (Vol14)、賛助会員会費、地域福祉活動報告、お知らせ
平成29年1月 (第71号)	新年のあいさつ、全国社会福祉大会、賛助会員会費、赤い羽根共同 募金、法人募金、私の町のふくし人 (Vol15)、地域福祉活動報告 介護保険課通信、お知らせ
平成29年3月 (第72号)	ボランティア研修会、賛助会員会費、赤い羽根共同募金・歳末たす けあい募金、ふれあいサロン交流会、私の町のふくし人 (Vol16) 地域福祉活動報告、お知らせ

### ○ホームページの更新、充実

社協の情報を迅速に提供するため、情報発信と内容充実に努めた。

### ○社協会長表彰

地域社会福祉向上に顕著な功績があった個人、団体に対し表彰を行った。

	H28	H27
個人 (人)	9	4
団体数	2	3

〈個人の部〉

表彰内容（所属団体名）	氏名
身体障害者福祉功労（特定非営利法人きらめき希望会）	行藤 和弘
社会福祉団体功（玉川地区遺族会）	石田 宏一
社会福祉団体功（川上地区福祉委員連絡会）	瀧川 裕美
社会福祉団体功（川上地区福祉委員連絡会）	川上 立人
社会福祉団体功（川上地区福祉委員連絡会）	菅野 泰雅
社会福祉施設功労（特別養護老人ホーム有漢荘）	中山富士子
社会福祉施設功労（社会福祉法人旭川荘かわかみ療護園）	川上 弘子
社会福祉施設功労（社会福祉法人旭川荘かわかみ療護園）	大塚 洋子
社会福祉施設功労（社会福祉法人旭川荘かわかみ療護園）	川本 真弓

〈団体の部〉

表彰内容	団体名
福祉ボランティア活動功労	落合町ミニデイサービス「あいあい会」
福祉ボランティア活動功労	川上小学校児童会

## 地域福祉事業

### 1. 地域福祉活動事業

予算額 25,973千円

執行額 24,047,192円 執行率 92.5%

#### (1) ふれあいのまちづくり事業

##### ①福祉委員活動支援

##### ○福祉委員の設置

全町内会に福祉委員を設置するため、未設置町内会に出向き説明等により設置に努めた。

〈目標〉 設置数 690町内会

〈実績〉

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
町内会数	390	33	93	99	83	698	700
福祉委員数	386	33	93	99	84	695	696

##### ○小地域福祉ネットワーク活動の推進

民生委員児童委員等との連携、情報交換を図るため、ご近所見守りネット事業を地区社会福祉協議会単位で推進した。

- ・福祉委員連絡会

年度当初時期での総会の開催（14地区）等を推進し、福祉委員の役割や社協の事業などについて説明するとともに、小地域福祉活動への推進について協力を依頼した。

・福祉委員連絡協議会

各福祉委員連絡会相互の連携を図ることにより、総合的かつ効果的な地域福祉活動を行うため福祉委員連絡協議会を開催した。

平成28年7月25日（月）／高梁総合福祉センター／14名

平成29年2月14日（火）／高梁総合福祉センター／13名

・ご近所見守りネット事業の推進

小地域福祉ネットワーク活動の推進のため、福祉委員を含む地区社協構成員が、定期的に集まる機会をつくり見守り活動の推進に努めた。

・地区社協会長・福祉委員連絡会長視察研修会開催

地区社協会長及び福祉委員連絡会長が一堂に会し、相互の親睦を深めるとともに、先進的な地域活動事例を学び、各地区における小地域福祉活動の推進に努めた。

平成29年3月1日（水）／社会福祉法人雲南市社会福祉協議会（島根県）／24名

○福祉委員の活動支援の推進

・「福祉委員活動のてびき」を活用し、福祉委員活動の周知及び役割の明確化に努める他、ご近所見守りネット事業の推進により、各地区においては、見守り強化月間等を促進するなど活動の充実を図った。

・福祉委員の届出に基づき、695名の福祉委員に対し、福祉委員証を交付し、意識の高揚に努めた。

・福祉委員活動を補償するため、ボランティア活動保険への加入により活動支援を行った。

・「福祉委員活動のてびき」に基づいた活動等を実施した場合に福祉委員活動に対する活動費を福祉委員の選出町内会に対し支援した。

②地区社会福祉協議会の支援

○地区社会福祉協議会の活動支援

地域に根ざした特徴的な地域福祉活動を推進するとともに、ささえあいたすけあいの住みよい地域社会の実現に向け、地域住民による「お助け隊派遣事業」の仕組みづくりを支援した。

また、総会での事業説明や情報提供等を行うなど連携強化を図った。

	H28	H27
交付地区社協数	14地区社協	14地区社協
交付金額	5,541,000円	7,594,000円

○地区社会福祉協議会会長会並びに役員連絡会議の開催

地区社会福祉協議会相互の意見交換等の場を設け、情報提供等を行い、市内全域に

における小地域地域福祉活動の活性化に努めた。

平成28年7月22日（金）／高梁総合福祉センター／23名

## (2) 地域福祉活動推進事業

### ①地域福祉活動計画の推進

安心して、いきいきと暮らせる地域社会を目指す地域福祉活動計画の推進に努めた。

#### ○計画の理解と普及

福祉座談会で計画の主旨及び社協事業について説明するとともに住民ニーズの把握に努めた。

#### ○計画の進捗管理と評価体制の整備

目標達成に向けて各事業の推進を図る他、進捗管理及び評価体制について検討を行った。また、社会福祉委員会において評価を行った。

#### ○事業成果の公表

各事業の実施状況について広報紙等で公表し、透明性を図った。

### ②福祉座談会（地域福祉活動事業）

住民が住み慣れた地域での生活、福祉課題を把握し、社会福祉協議会活動への理解を深めるため情報提供等により事業推進を図った。

<目標> 15地区で開催

<実績> 1月から2月にかけて市内14地区で開催した。

### ③ふれあい福祉講座

地域住民が福祉に対する理解を深め、「ささえあい・たすけあいの福祉のまちづくり」の推進を図るため、福祉委員や福祉のまちづくりの研修の場として開催した。

また、各地域における福祉委員活動やサロン団体の活動のPRや活動でできた物の展示や販売の機会とし団体等の運営を支援した。

<目標> 全体750人（内福祉委員参加者250人）

<実績>

	H28	H27
開催日	平成28年7月29日（金）	平成27年7月24日（金）
開催場所	高梁総合文化会館	高梁総合文化会館
参加人数	650人（内福祉委員127人）	750人（内福祉委員130人）

・各地域における福祉委員活動やサロン活動など先進事例の発表を行い、地域福祉活動の活性化に努めたが、参加者数の目標達成には至らなかった。

### ④健康福祉のつどい

保健、医療、福祉、ボランティア活動に功労のあった方々を顕彰するとともに、保健福祉の認識を一層深め、21世紀の高梁市のすべての人々が健康で心豊かに生活できるよう「心のつながりを大切に 支えあい助けあう 安心のまちづくり」を目的に市との



共催により開催した。

	H28	H27
開催日	平成28年10月15日（土）	平成27年10月17日（土）
開催場所	高梁総合文化会館他	高梁総合文化会館他
参加人数	1,000人	1,000人

- ・社会福祉協議会会長表彰
- ・囲碁、将棋、ゲートボール、グラウンドゴルフ大会の実施

#### ⑤地域福祉推進部門強化・充実事業への取り組み

平成27年度から2年間、岡山県社会福祉協議会が実施する地域福祉推進部門強化・充実事業に取り組み、松原地区社会福祉協議会と高倉地区社会福祉協議会をモデル地区とし、小地域福祉活動計画を策定した。

#### ⑥県内外社協等との交流

視察を積極的に受入れ、地区社会福祉協議会間の情報交換により、小地域福祉活動の活性化に努めた。

- ・地区社会福祉協議会関係 7件

受入地区	来訪団体
高梁市社会福祉協議会	赤磐市社会福祉協議会（岡山県赤磐市）
高梁市社会福祉協議会	福山市新市町（広島県福山市）
松原地区社会福祉協議会	世羅町西大田地区振興会連絡協議会（広島県世羅町）
松原地区社会福祉協議会	笠岡市社会福祉協議会白石島支部（岡山県笠岡市）
松原地区社会福祉協議会	早島町社会福祉協議会（岡山市早島町）
宇治地区社会福祉協議会	笠岡市社会福祉協議会吉田支部（岡山県笠岡市）
福祉委員連絡協議会	総社市福祉委員協議会（岡山県総社市）

### (3) 福祉活動助成事業

#### ①ふれあいサロン事業

地域で安心していきいきと生活を送ることができる相互システムを身近な範囲に構築し、住民の福祉意識の向上を図った。

また、広報紙等を活用した制度や事例紹介などの広報及び、新規立ち上げ等の相談や情報提供の支援を行うなど取り組みやすい環境の整備に努めた。

	H28	H27
講師出向	10件	12件
相談対応	65件	102件
内 訪問	2件	13件
来所	37件	58件
電話	26件	18件

<目標> 助成件数120件

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
交付決定数	77	8	13	13	11	122	126
内 5町内	67	8	11	10	10	106	105
内 大字単位	4	0	2	3	1	10	14
内 町単位	4	0	0	0	0	4	7
内 年4・5回	2	0	0	0	0	2	0
交付決定額	2,570,000	240,000	470,000	490,000	350,000	4,120,000	4,480,000

・ふれあいサロンのリーダー育成とし、代表者交流会を行った。

②福祉団体活動助成事業

市民で組織され、市内を活動範囲とする団体の運営費又は事業費の一部を助成し、活動団体の一層の活性化を図った。

③車両貸出

福祉団体等の活動に対して、自動車の貸し出しを行い、福祉活動の支援に努めた。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
貸出件数	26	3	2	1	5	37	34
内 サロン団体	14	0	0	1	3	18	16

(4) 老人福祉事業

①老人クラブ活動支援

高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの活動への支援を行った。また、地域老人クラブの自主的運営のため事務の簡素化、効率化を図った。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
会員数	1,736	265	1,033	612	528	4,174	4,311
単位クラブ数	15	8	17	9	13	62	62

②日常生活用具貸出事業

虚弱な高齢者等へ、生活補助用具（特殊ベッド、車椅子）を無料で短期間貸し出した。

	H28			H27
	保有台数	延貸出件数	貸出可能台数	延貸出件数
特殊ベッド	22	31	17	30
車いす	46	65	39	63

(5) 障がい児・ひとり親・児童福祉事業

福祉活動団体の一層の活性化と地域福祉推進のため、障害者スポーツ大会等の支援を行った。

	H28	H27
障害者スポーツ大会等助成金支給件数	1	1

(6) 災害福祉活動事業

①被災家屋等復旧費助成金支給事業

自然災害又は火災により、住宅等の建物に被害を受けた世帯の生活不安の解消及びお互いに助け合う地域づくりのため、福祉委員が関わり地域住民等による復旧活動を実施した場合に、復旧費の一部を助成するが、幸いにも実績はなかった。

## ②災害等見舞金支給事業

自然災害又は火災により、現に居住している住宅等の建物に被害を受けた世帯に対し見舞金を支給した。

	H28	H27
被災家屋等復旧費助成金支給件数	0件	0件
災害見舞金支給件数	1件 有漢1	1件 成羽1
火災見舞金支給件数	5件 高梁3、有漢1、成羽1	2件 高梁2
死亡弔慰金支給件数	0件	0件

## (7) 一般募金助成事業

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、住民自らが積極的に参加する福祉のまちづくりの活動を促すため、助成金を支給した。

### ○対象団体

高齢者、身体障害者、児童関係福祉団体、ボランティア団体、地域福祉活動団体等

### ○助成金の決定方法等

社会福祉協議会理事会で審議するなど透明性を図るとともに、交付団体の意識を促すため交付式を開催した。また、地域で活躍する団体へ助成を行うため公募方式の仕組みを整備した。

区分	H28		H27	
	件数	金額	件数	金額
高齢者、身体障害者等、児童活動助成金件数	19	1,043,000	20	1,106,000
ボランティア団体活動助成金件数	6	304,000	8	354,000
地域福祉活動助成金件数	14	1,773,000	14	1,860,000
計	39	3,120,000	42	3,320,000

## (8) 歳末たすけあい支援事業

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、歳末たすけあい運動の趣旨に添った個人及び団体に対し慰問金又は助成金を支給した。

個人（慰問金）対象：在宅要介護者、難病者等

団体（助成金）対象：ボランティア団体、福祉団体

区分	H28		H27	
	件数	金額	件数	金額
在宅要介護者慰問金件数	183	1,098,000	191	1,146,000
難病者等慰問金件数	123	738,000	127	762,000
ボランティア団体、福祉団体活動助成(団体)件数	13	838,800	13	831,000
計	319	2,674,800	331	2,739,000

### (9) ボランティアセンター活動事業

ボランティアセンターの運営等により学習、活躍できる場や機会の提供の充実を図り、若い方々の社会参加を促すなど人材の育成や発掘等に努め福祉教育を推進した。

#### ①学童、生徒のボランティア活動普及事業

学童、生徒の社会福祉への関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養いボランティア活動の推進と啓発を図るために、教育委員会との連携により、市内の小学校、中学校、高等学校をボランティア活動普及事業協力校に指定し、体験学習やボランティアの実践活動を行った。

<目標> 指定校10校

<実績>

- ・ 指定校10校 小学校／津川、川面、中井、松原、有漢東、川上、有漢西  
中学校／高梁東、有漢、川上

(平成28年度から平成30年度の3年間指定)

#### ②福祉出前講座

福祉の心を育てるため、ボランティア団体等と連携を図り、地域に出向き福祉に関する講座(高齢者擬似体験、車椅子体験、手話体験等)を教育機関との連携等のより実施した。

<目標> 25回

<実績>

	H28	H27
高齢者疑似体験	8	10
車いす体験	5	8
手話体験	5	7
アイマスク体験	5	2
その他	7	7
計	30	34

#### ③ボランティア育成

##### ○ボランティア登録事務及び斡旋

ボランティア活動に興味のある個人又は団体のボランティアセンターへの登録を促し

ボランティア要望のある団体・施設等に斡旋を行った。

<目標> 100団体

<実績>

登録状況	種別	H28登録者・団体数	H27登録者・団体数
	個人	27人	24人
団体	93団体 (2,916人) 内 86団体 (1,539人) V0団体 7団体 (1,377人) 協力団体	88団体 (2,626人) 内 82団体 (1,508人) V0団体 6団体 (1,118人) 協力団体	
相談斡旋		相談件数12件	相談件数7件
		内 斡旋延件数 2団体 (学校他) 4人 (個人)	内 斡旋延件数 2団体 (学校他)

○ボランティア研修会を開催し、活動の普及とボランティアリーダーの育成に努めた。

	開催日・場所	H28	H27
ボランティア研修会	平成29年2月16日 (木) 高梁市文化交流館	266人	285人

#### ④福祉団体、ボランティア団体活動助成事業

・市民で組織され、市内を活動範囲とする団体の運営費又は事業費の一部を助成し、福祉活動団体、ボランティア活動団体の一層の活性化を図った。

	H28	H27
福祉団体	0	0
ボランティア団体	3	2
計	3	2

・ボランティア活動保険料の150円を助成し、地域における福祉活動及びボランティア活動の一層の推進を図った。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
団体数	23	3	4	6	3	39	43
助成人数	1,145	49	31	33	68	1,326	1,306

・活動支援としてボランティア活動に興味のある個人又は団体の状況やボランティアを要望する団体施設等の募集や情報をホームページ等で発信するなど情報発信の強化に努めた。

#### ⑤夏のボランティア体験事業の開催

市内に在住又は通学している中学生、高校生、大学生を対象に社会福祉について理解を深めるとともに、ボランティア活動に参加する機会を提供しボランティア活動の意識の高揚を図った。

・事前研修会、体験活動、事後研修会の開催

<目標> 参加者 250人

<実績>

事項	種別	H28	H27
事前研修会	開催日	平成28年7月18日(月)	平成27年7月20日(土)
	参加者	学生 216人	学生 202人
		受入施設 29人	受入施設 27人
体験活動	活動期間	7月から8月の夏休み期間中	7月から8月の夏休み期間中
	体験施設	市内42施設	市内31施設
		3ボランティア団体 1福祉団体	2ボランティア団体
事後研修会	開催日	平成28年8月27日(土)	平成27年8月29日(土)
	参加者	学生 201人	学生 178人
		受入施設 17人	受入施設 18人

生徒・学生が、ボランティア活動に積極的に取り組めるよう、学校や教育委員会、各関係機関との連携強化に努めたが目標に至らなかった。

#### ⑥地域福祉活動基金

基金の果実をボランティアセンター活動事業に繰出し事業を実施した。

<地域福祉活動基金積立資産内訳>

	区分	期間	償還日	金額	利率(税引き前利回り)
①	定期預金	-	-	55,390,320	0.087%
②	定期預金	-	-	23,400,000	0.07%
③	利付国債	10年	2025/12/20	84,554,340	0.30%
④	利付国債	10年	2025/12/20	36,655,340	0.30%

・定期預金・国債に関する単年度利息について(基金総額200百万円)

定期預金利息 64,701円

国債利息 311,204円

※国債利息は単年度利息から経過利息(49,396円)を差引いた額

## 2. 在宅福祉サービス事業

予算額 132,995千円

執行額 128,732,127円 執行率 96.7%

### (1) 敬老事業

#### ①敬老事業

高梁市敬老事業の受託及び自主敬老事業を実施し、永年にわたり地域社会に尽くした高齢者の長寿を祝い実施する敬老事業の開催を推進し、敬老意識の高揚を図った。

<目標> 敬老会開催数 55件

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
交付団体数	40	1	12	8	11	72	61
75歳以上人数	915	196	249	231	304	1,895	1,934
88歳人数	105	36	22	31	32	226	199
延対象人数	1,020	232	271	262	336	2,121	2,133
申請額	1,530,000	348,000	406,500	393,000	504,000	3,181,500	3,199,500

②敬老祝い品贈呈事業

永年にわたり地域の発展に尽力された高齢者に感謝の意を表すとともに、米寿を祝い記念品（肖像写真）を贈呈した。また、福祉委員の協力を得て、事業推進し贈呈率の向上に努めた。

<目標> 贈呈率 75%

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
該当者数	178	37	60	37	50	362	334
贈呈者数	128	27	39	34	40	268	269
贈呈率	71.9	72.9	65.0	91.8	80.0	74.0	80.5

(2) 高梁市福祉移送サービス事業

社会参加及び生活支援のためにドア・ツー・ドアによる移送サービスを行うとともに、安全運転に関する講習会等を開催し、安全運行に努めた。

○事業管理システムの活用

車両運行の効率化、事務の省力化及び一元的な事業管理に努めた。

○移送車輛の更新

安全運行の確保のため車輛（軽四車いす仕様車輛（660cc））1台の更新整備を行った。

○専門研修の開催

安全運転に関する講習会（1月）及び運転適性検査（3月）を実施した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
受講対象運転者数	17	7	7	13	23	67	69
受講者	交通安全講習会	7	2	3	5	9	40
	運転適性検査	7	4	4	8	11	19
	計	14	6	7	13	20	59

○高梁市福祉運転ボランティアの会及び各支部の事務支援

総会等の場で、運転ボランティア相互の全市的な情報共有と認識を図った。

<目標> 登録会員数 330人  
 延利用回数 4,650回  
 運転ボランティア数70人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
移送車両数	9	3	3	4	6	25	25
運転ボランティア数	17	7	7	13	23	67	69
会員数	152	56	67	46	66	387	376
一般移送数(延)	649	276	325	154	186	1,590	1,531
透析移送数(延)	1,394	148	554	1,079	460	3,635	3,445
難病移送数(延)	1	54	0	3	0	58	70
移送利用計	2,044	478	879	1,236	646	5,283	5,046

### (3) ちょこっとお助けサービス事業

自主事業のちょこっとお助けサービス事業を市の軽度生活援助事業に統合し、ちょこっとお助けサービス事業として、日常生活を営むのに支障のある高齢者に支援員（シルバー人材センター会員）を派遣し、庭周辺の手入れ等、介護保険サービス以外のサービスを提供した。

<目標>年間利用実人数 40人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
利用対象者数	67	2	12	1	5	87	68
利用実人数	29	2	7	0	4	42	38
延利用人数	205	14	48	0	42	309	266

### (4) 高梁市生活管理指導員派遣事業

日常生活に関する支援が必要な高齢者に、生活管理指導員（訪問介護員）を派遣し、家事の支援等を行った。

<目標>年間延時間数 450時間

<実績>

	H28	H27
実人数	11	14
延時間数	377	424

・対象者は一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯であり、利用者の介護保険サービスへの移行によりサービス提供時間が減少した。



(5) 高梁市健やか高齢者生きがい支援事業

介護予防、自立支援のため日常動作訓練や趣味活動等の各種サービスを提供するとともに利用者の自主性も尊重したサービス提供を実施。また指定管理施設の適切な管理運営に努めた。

○生きがいデイサービスの実施

- ・ミニデイサービス：高梁地区の各地域市民センター等10ヶ所で実施
- ・生きがいデイサービス：備中高齢者生活福祉センターで実施
- ・生きがい対策デイサービス：川上いきいき交流館で実施

○指定管理施設の運営管理

- ・備中高齢者生活福祉センター指定管理施設の管理運営
- ・川上いきいき交流館指定管理施設の管理運営

○事業の周知、利用促進

老人クラブなどへ事業の説明を行い、利用の促進を図った。

<目標>年間延利用人数

生きがい（対策）デイサービス 2,650人

ミニデイサービス 3,100人

<実績>

	高梁	川上	備中	H28	H27
実施回数	126	163	40	329	324
利用延人数	2,681	1,968	662	5,311	5,235

・新規利用申請があったが、継続利用者が介護保険サービスへ移行したため、昨年実績を上回ったが目標達成には至らなかった。

(6) 高梁市給食サービス事業

一人暮らしの高齢者及び障害者等で調理が困難な世帯に、宅配による食事の提供を行い、併せて配食ボランティアによる安否確認を実施した。

○事業実施に関わる配食ボランティア団体代表者による合同会議を開催し、情報提供情報交換により活動の支援を行った。

平成28年8月22日（月）／高梁総合文化会館／24名

○高梁市民生委員児童委員協議会等関係機関と連携し、潜在的なニーズの把握に努め未実施地区へ出向き事業の説明を行うなど、サービスの未実施地区の解消に努めた。

平成28年8月19日 落合町福地地区説明会開催

平成28年8月20日 落合町原田地区説明会開催

<目標>延食数30,000食

実利用人数 350人

配食ボランティア数 540人

<実績>

	高梁 週4回 月火木金	有漢 週1回 水	成羽 週3回 月水金	川上 週3回 月水金	備中 週1回 木	H28	H27
利用実人数	172	39	72	26	34	343	344
延食数	18,909	1,491	7,555	2,324	1,171	31,450	31,421
配食ボランティア数	267	76	28	154	46	571	583

(7) 高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業

寝具の衛生管理が困難な方に対し、年間2回、ふとん等の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行った。

また、居宅介護支援事業所などの関係機関と連携し広報活動を行った。

<目標>実利用人数 180人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
利用実人数	116	20	32	24	29	221	198
利用延件数	171	29	45	37	46	328	298

(8) 生活支援体制整備事業

平成29年4月から施行される介護予防・日常生活支援総合事業の体制整備を進めるにあたり、市が定める圏域ごとに、地区社会福祉協議会へ地域で支え合える体制を協議の場としての「第2層協議体」を設置し、地域の社会資源を整理し、情報の共有を図り、地域に必要なサービスの議論や地域課題の発見に努めた。また、ある地区では地域課題に対する具体的な目標設定を行い、自分たちでできることの役割分担を行い組織化に向けて働きも見えてきた。当社協として第2層協議体の支援を担っており、地区担当者を中心に地域と共同し体制整備までを進めてきた。

(9) 遺族への援護

高梁市遺族連合会への事務支援を行った。

(10) 保健センター事業

川上保健センターの維持管理に努めた。

	H28		H27	
	件数	延利用者数	件数	延利用者数
健康相談、機能訓練等提供	12	237	3	103
子育て支援等交流事業実施	14	164	26	273
その他(老人クラブ等)	54	791		
合計	80	1,192	29	376

3. 権利擁護事業

予算額 18,150千円

執行額 15,199,429円 執行率 83.7%

(1) ふれあい相談事業

高齢者等の日常生活における心配ごと等について随時相談に応じ、適切な助言を行った。

随時相談(各社会福祉協議会事務所) 福祉総合相談

	H28	H27		H28	H27
開催回数	随時	12回	生 計	0	1
職業生業	0	0	住 宅	1	0
離 婚	1	1	医 療	0	1
家 族	0	0	生 活	0	0
教 育	0	0	そ の 他	27	3
人権法律	0	0	計	29	6

(2) 日常生活自立支援事業

岡山県社会福祉協議会からの受託事業として、認知症等により、金銭管理、福祉サービスの利用手続き等に不安がある方を対象に、生活に必要な預貯金の出し入れや福祉サービスの利用手続きなどの支援を行った。

利用に関する相談への対応や利用契約の締結までを専門員が行い、契約後は、各地域の生活支援員が利用者宅を訪問するなどして支援を行った。

○サービスの種類

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等預かりサービス

<目標> 実利用者数 13人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
利用実人数	6	0	2	0	3	11	12
支援員数	5	1	1	1	4	12	12

今年度は4人の新規契約があったものの、施設入所等で4人の契約終了となった。

### (3) 自立相談支援事業

市から高梁市生活あんしんサポートセンター事業の一部を受託し、生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに困窮状態から早期に脱却するよう、ふれあい相談や生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業等の関連事業との調整を図りながら、関係機関との連携を密にし効率的な相談支援に努めた。

○相談件数

H28年度	19件	H27年度	23件
-------	-----	-------	-----

### (4) 生活福祉資金貸付事業

岡山県社会福祉協議会から事業を受託し、生計困難で必要な資金の融資を他から受けることができないことにより資金を必要とする方に、必要な資金の貸付・償還指導を行い自立更生の支援を行った。

	H28	H27
新規貸付件数	0	0
償還済件数	2	0
貸付中件数	8	10

・迅速な相談対応を行ったが貸付には至らなかった。

### (5) 福祉資金貸付事業

低所得者への資金の貸付（無利息）による自立支援及び償還指導を行った。  
また、職員の専門性を発揮することにより、迅速な相談対応に努めた。

#### ○資金種別

生活福祉資金貸付（貸付限度額10万円） 2件  
（うち緊急小口貸付2件）

出生、死亡、疾病等一時的資金貸付（貸付限度額20万円） 0件

	H28	H27
新規貸付件数	2	7
償還済件数	0	4
貸付中件数	10	8

## 介護保険事業

予算額 223,192千円

執行額 219,780,630円 執行率 98.4 %

介護保険サービス利用者が可能な限り在宅生活を営むことができるよう、各種のサービス事業を効率的に運営し、介護サービスの充実を目指して職員の資質向上に努めた。

## 1. 居宅介護支援事業

### ○介護サービス及び介護予防サービスのケアプラン作成

介護を必要とされる方が、その居宅において適切にサービスを利用できるように介護支援専門員が、心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に沿ってケアプランを作成し、その計画に位置付けたサービスを提供する各サービス事業所との連携調整を行った。また、川上・備中の事業所は主任介護支援専門員を2名以上配置した特定事業所として加算を受けている。

### ○要介護認定調査

介護保険要介護更新認定、要支援更新認定申請者に対して、市からの委託により調査を行った。

#### <目標>

	高梁	川上	備中	合計
要介護支援延回数	770	1,248	1,188	3,206
予防介護延回数	200	48	150	398

#### <実績>

		高梁	川上	備中	H28	H27
要介護支援	実人数	71	121	132	324	337
	延回数	713	1,171	1,221	3,105	3,079
予防介護	実人数	14	6	13	33	41
	延回数	131	40	100	271	379
延回数計		844	1,211	1,321	3,376	3,458
介護認定調査	延回数	38	47	79	164	196

・介護支援専門員一人当たりの利用者数制限のため、要介護者中心のケアプランに重点を置き収益確保を重視した。

## 2. 訪問介護事業

### ○介護保険利用者への指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護の提供

ホームヘルパーが居宅を訪問し、調理や掃除、洗濯、買物等の家事援助及び入浴、食事、排泄等の身体介護の生活援助を行った。

### ○障害者総合支援事業利用者への居宅介護サービスの提供

障害者（児）が地域で安心して暮らせるよう、ホームヘルパーが居宅を訪問し、身体介護及び家事援助を行った。

### ○移動支援の提供

1人で外出できない障害者（児）等が、社会参加活動のために外出する場合、介護員が移動の支援を行うサービスであるが、利用者はなかった。

### ○訪問介護員の資質の向上

登録ヘルパーを含めた研修会を定期的に開催し、介護技術等の向上に努めた。

<目標>

種類	利用延回数
介護保険 訪問介護	7,560
介護保険 予防介護	3,816
障害者総合支援 居宅介護	864
移動支援	12
計	12,252

<実績>

			H28	H27
介護保険	訪問介護	実人数	120	121
		延回数	7,813	7,517
	予防介護	実人数	47	74
		延回数	2,174	3,753
	延回数計		9,987	11,270
障害者総合支援	実人数	18	13	
居宅介護	延回数	1,227	863	
移動支援	実人数	0	2	
	延回数	0	23	
延回数合計		11,214	12,156	

・在宅から施設入所、退院から直接施設入所となる方が増加し、サービス提供回数は減少。平成28年1月から県の認可を受け特定事業所として10%の加算を得て収益改善と体制の強化に努めているが、利用者の地域偏重と登録ヘルパー不足も影響し、目標未達となった。

3. 訪問入浴介護事業

看護・介護職員が、訪問入浴車で居宅を訪問し、持参した浴槽を設置し入浴による利用者身体の清潔保持、心身機能の維持回復を図り、生活機能の維持と向上を目指したサービス提供をした。

<目標> 利用延回数 457回

<実績>

			H28	H27
介護保険	訪問入浴	実人数	16	16
		延回数	278	385
	予防介護 訪問入浴	実人数	0	1
		延回数	0	9
	延回数計		278	394

障害者総合支援	実人数	1	1
居宅介護	延回数	78	46
延回数合計		356	440

・新規利用者はあったが、末期のために退院後在宅で過ごす方や、通所や施設利用までの短期利用者で、継続的利用には繋がらず、目標未達成となった。

#### 4. 通所介護事業

居宅から施設まで送迎し食事、入浴などの日常生活支援や機能低下を防止するための機能訓練や、心身の活性化を図るため日常生活支援、日常動作訓練等の通所介護サービスの提供を日帰りで行った。

○生活機能低下予防のための介護サービスの提供

○備中デイサービスセンター・川上デイサービスセンター：指定管理施設の運営管理

○巨瀬デイサービスセンター：高梁市基準該当通所介護としての運営

##### <目標>

	巨瀬	川上	備中	合計
通所介護 延人数	315	3,779	3,208	7,302
介護予防 延人数	360	595	752	1,707
障害者 延人数	0	0	24	24
計	675	4,374	3,984	9,033

##### <実績>

		巨瀬	川上	備中	H28	H27
定員		20	18	30	68	75
開所日(週)		1	5	5		
開所日数		45	243	202	490	488
通所介護	利用実人数	7	54	73	134	124
	利用延人数	229	3,554	3,931	7,714	7,411
予防介護	利用実人数	7	8	22	37	39
	利用延人数	233	240	594	1,067	1,491
障害者利用者数				34	34	31
利用延人数計		462	3,794	4,559	8,815	8,933
1日当たりの平均利用者数		10.3	15.6	22.6	18.0	18.3

・備中デイは利用者拡大に努力し前年実績を大きく上回ったが、川上デイは定員18名の地域密着型に規模変更したことも影響し利用者が大きく減少した。

## 5. 認知症対応型共同生活介護事業

### 指定認知症対応型共同生活介護サービスの提供（ささゆり苑）

認知症状態にある利用者に対し、家庭的環境の共同生活住居において、日常生活の世話や機能訓練等の居宅介護サービスを行った。（定員9名）

○家庭的環境に近い共同住宅で、地元地域との連携を深め、利用者にとって温かみのある暮らしを目指した。

○看護師の定期的な巡回による健康チェック

○介護職員の専門性を高めるため研修会へ参加し、質の高い介護サービス提供に努めた。

<目標> 利用定員9名の維持

<実績>

	H28	H27
定員	9	9
利用実人員	12	12
延利用者数	3,183	3,251

## 公益事業

### 1. シルバー人材センター事業

予算額 99,195千円

執行額 90,232,620円 執行率 90.9%

働く意欲のある高齢者に、知識や経験、技術を活かした臨時的かつ短期的な仕事、又はその他の軽易な仕事を提供した。

<目標>登録会員数300人

延受注件数2,900件

延就労人員17,920人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	H28	H27
会員数	109	26	37	59	40	271	276
延受注件数	1,295	94	197	168	77	1,831	1,814
延就労人員	7,094	1,412	1,485	4,393	2,052	16,436	16,607

・会員数は広報紙での会員募集、口コミ運動により新規登録があったものの登録会員の高齢等の退会も多く横ばい状態である。



- ・職群班の円滑な運用

班会を開催し、情報提供や情報の共有を促進した。

屋外・屋内軽作業班の編成を改め、班の効率化と円滑な運用を図った。

- ・安全管理の推進

シルバー人材センターのしおりの活用や講習会等の開催により会員の安全就労に対する自己管理意識の高揚と安全適正就労の推進を図った。

安全・適正就労パトロールを実施した。（岡山県シルバー人材センター連合会と合同実施）

<実績>

平成28年5月19日（金） 安全・適正就業パトロール 現場指導8名

平成28年7月6日（水） 危機管理講習会／高梁総合文化会館 参加者50名

2. 総合福祉センター運営管理（公益事業）

予算額 21,764千円

執行額 21,098,948円 執行率 96.9%

高齢者、障害者等及び福祉団体、ボランティア団体等の活動拠点として、また、市民の方々の教養の場として施設管理を行った。

○高梁総合福祉センター管理運営（竣工 昭和51年3月20日）

○成羽総合福祉センター管理運営（竣工 昭和59年3月20日）

	高梁	成羽	H28	H27
利用件数	1,050	414	1,464	1,777
延利用者数	18,090	12,476	30,566	33,859

運営委員会の開催、施設の大規模修繕や今後の有り方等を検討し、適切な運営管理を図るため、高梁市総合福祉センター管理運営委員会を1回開催した。

1. 理事会、評議員会等の各種会議の開催状況

(1) 正副会長会

第1回	平成28年	5月19日	高梁総合福祉センター	出席役員：3人
第2回	平成28年	12月19日	高梁総合福祉センター	出席役員：3人
第3回	平成29年	2月21日	高梁総合福祉センター	出席役員：3人
第4回	平成29年	3月16日	高梁総合福祉センター	出席役員：3人

(2) 会長・副会長・支会長会議

第1回	平成28年	8月10日	高梁総合福祉センター	出席役員：6人
第2回	平成28年	10月14日	高梁総合福祉センター	出席役員：6人
第3回	平成29年	2月9日	高梁総合福祉センター	出席役員：5人

(3) 理事会

第1回	平成28年	5月26日	高梁総合福祉センター	出席役員：17人
第2回	平成28年	11月18日	高梁総合福祉センター	出席役員：14人
第3回	平成28年	12月26日	高梁総合福祉センター	出席役員：18人
第4回	平成29年	2月24日	高梁総合福祉センター	出席役員：13人
第5回	平成29年	3月24日	高梁総合福祉センター	出席役員：18人

(4) 評議員会

第1回	平成28年	5月26日	高梁総合文化会館	出席役員：37人
第2回	平成28年	11月18日	高梁総合福祉センター	出席役員：35人
第3回	平成28年	12月26日	高梁総合文化会館	出席役員：39人
第4回	平成29年	3月24日	高梁総合福祉センター	出席役員：30人

(5) 委員会

・総務企画委員会

第1回	平成28年	5月13日	高梁総合福祉センター	出席役員：21人
第2回	平成28年	11月15日	高梁総合福祉センター	出席役員：20人
第3回	平成28年	12月13日	高梁総合福祉センター	出席役員：19人
第4回	平成29年	3月4日	高梁総合福祉センター	出席役員：20人

・社会福祉委員会

第1回	平成28年	5月13日	高梁総合福祉センター	出席役員：23人
第2回	平成28年	6月29日	高梁総合福祉センター	出席役員：24人
第3回	平成28年	12月13日	高梁総合福祉センター	出席役員：22人
第4回	平成29年	3月4日	高梁総合福祉センター	出席役員：19人

・表彰選考委員会

平成28年 8月10日 高梁総合福祉センター 出席役員： 6人

・高梁市総合福祉センター管理運営委員会

平成28年11月2日 高梁総合福祉センター 出席役員：10人

・評議員選任・解任委員会

平成29年2月28日 高梁総合福祉センター 出席委員： 4人

・役員等推薦会

平成29年3月13日 高梁総合福祉センター 出席委員： 4人

・苦情処理第三者委員会

平成28年10月5日 高梁総合福祉センター 出席役員： 3人

(6) 支会運営委員会

・高梁支会

第1回 平成28年 4月27日 高梁総合福祉センター 出席役員：15人

・有漢支会

第1回 平成28年 4月15日 有漢保健センター 出席役員： 6人

第2回 平成29年 3月17日 有漢保健センター 出席役員： 7人

・成羽支会

第1回 平成28年 4月14日 成羽総合福祉センター 出席役員：10人

・川上支会

第1回 平成28年 5月17日 川上保健センター 出席役員： 7人

第2回 平成29年 3月 9日 川上保健センター 出席役員： 8人

・備中支会

第1回 平成28年 5月17日 備中支所別棟会議室 出席役員： 7人

第2回 平成29年 3月16日 備中郷土館 出席役員： 5人

2. 監事による監査

第1回 平成28年 5月10日 高梁総合福祉センター 出席監事： 3人

第2回 平成28年11月24日 高梁総合福祉センター 出席監事： 3人

3. 職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施状況

(1) 計画的な職員研修

① 専門研修

・岡山県福祉職員生涯研修会（新任コース） 参加者 2名

期日：平成28年5月（2日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・岡山県福祉職員生涯研修会（指導コース） 参加者 2名

期日：平成28年8月（2日間）

- 会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・岡山県福祉職員生涯研修会（管理コース） 参加者 3名  
期日：平成28年8月（2日間）  
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
  - ・リスクマネジメント研修会（中堅コース） 参加者 2名  
期日：平成28年9月（1日間）  
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
  - ・リスクマネジメント研修会（指導・管理コース） 参加者 2名  
期日：平成28年9月（1日間）  
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
  - ・コーチング研修会 参加者 2名  
期日：平成28年10月（2日間）  
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
  - ・対人援助技術研修会（実践コース） 参加者 2名  
期日：平成28年10月（1日間）  
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
  - ・岡山県総合社会福祉大会 参加者 1名  
期日：平成28年10月（1日間）  
会場：岡山市民会館
  - ・都市社協連絡協議会（研修会） 参加者 2名  
期日：平成28年12月（2日間うち1日）  
会場：休暇村蒜山高原
  - ・福祉サービス苦情解決研修会 参加者 1名  
期日：平成29年2月（1日間）  
会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
  - ・内部研修会（全職員対象） 参加者43名  
期日：平成29年2月（半日間）

## ②内部指導監査の実施

関係法令及び経理規程に基づく会計処理、前年度の指導事項の改善状況について行った。特に、未収金、未払金の処理等出納処理状況、各種支払に係る経理、備品管理状況に重点を置いて実施した。

実施日：平成28年9月 7日 備中支所  
 9月 8日 地域福祉課  
 9月 9日 地域福祉課、有漢支所  
 9月12日 川上支所  
 9月14日 介護保険課・巨瀬デイサービスセンター  
 9月16日 ささゆり苑、成羽支所  
 9月20日 総務課